

Business History and Economic Theory: Progressive Value Creation or Predatory Value Extraction?

持続的価値創出か、略奪的価値抽出か？
株主価値最大化がイノベーションを衰退させる

(オンライン自動翻訳字幕を提供)



2025年1月23日

5PM-7PM, アカデミーコモン, 308F教室

話題書『略奪される企業価値』
の著者が語る株主至上主義へ
の警句と企業の役割

ウィリアム・ラゾニック
名誉教授

経済学者、経営史家。
マサチューセッツ大学経済学名誉教授、
AIRnet共同設立者兼会長。
専門は、イノベーションの社会的条件、
社会経済的な流動性、経済発展。
「革新的企業の理論」の提唱者であり
シュンペーター賞(2010年)・マッキン
ゼー賞(2014年)を受賞した企業組織
論の権威。

学内・学外を問わず参加可能で
す。参加をご希望の方は二次元
バーコードからお申込み下さい。
申込期限: 2025年1月20日まで



株式市場は、企業が生産能力への投資
を行うための資金を供給し、価値を創造
する制度だと考えられている。
これに対してラゾニック教授は、株式市
場は企業から価値を抽出する制度に成
り果てていると主張する。

「革新的企業の理論」、「内部留保と再
投資」対「削減と分配」などラゾニック教
授独自の視点から、新たな価値創造と
経済成長に向けた企業経営や経済政策
に向けた洞察を議論する。

共催

グローバル比較経営史研究センター
明治大学国際連携本部

協賛

東洋経済新報社

連絡先

宮田憲一(経営学部・准教授)
Email: kmiyata82@meiji.ac.jp